2021年度　えびな南高齢者施設　アンケート調査結果　D

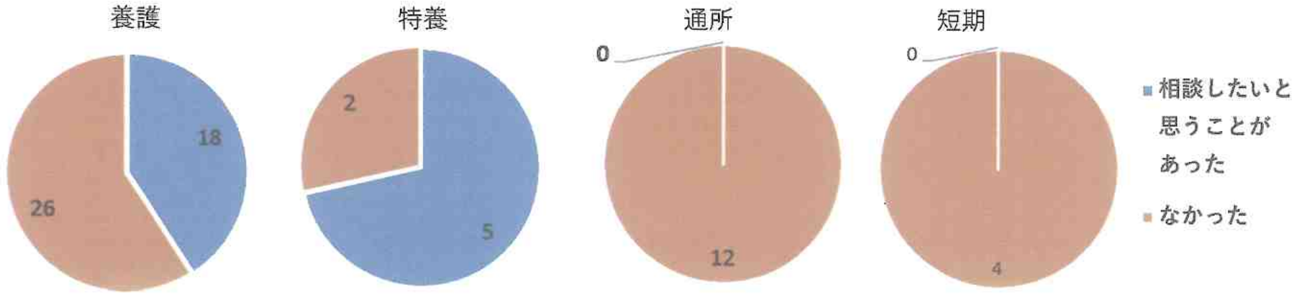
（看護師からのご質問）　①、②の2部構成です

回答者：①えびな南高齢者施設（養護、特養、短期、通所）のご利用者／②特養ご利用者様のご家族

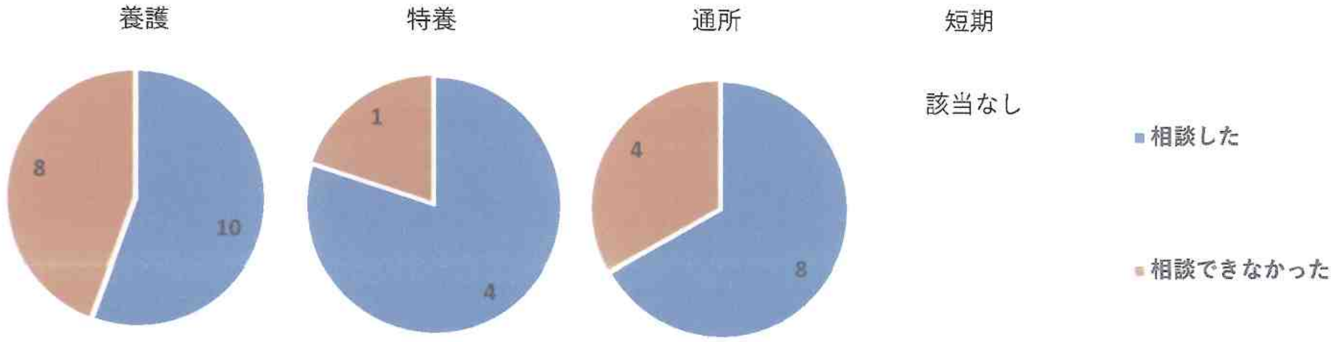
アンケート回答数：①回答数102名　／　②回答数24名

①

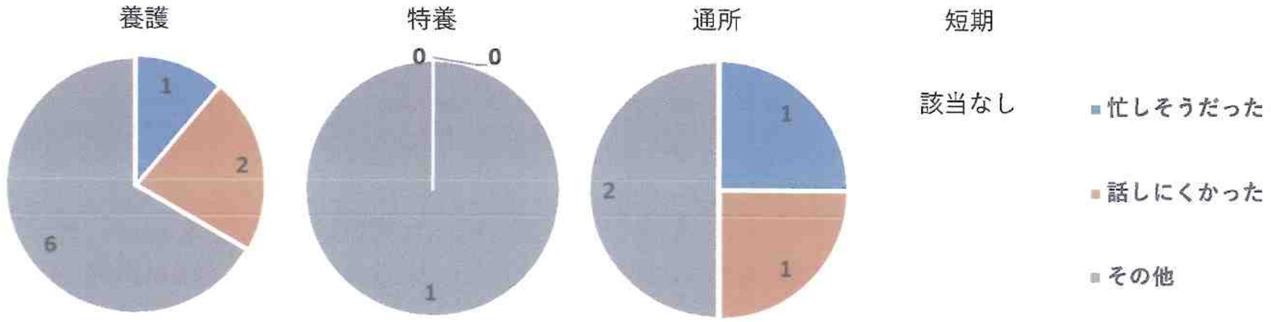
Q１．身体に不安があったときに、事業所の看護職員に相談したいと思うことはありましたか？



Q２．Q1で『相談したいと思うことがある』を選択された方にお伺いします。
実際に看護職員に相談しましたか？



Q３．Q２で「相談できなかった」と回答された方にお伺いします。その理由を教えて下さい。



裏面へ続く

②

Q１．施設には看護職員がおりますが、今まで看護職員に確認したいと思ったことはありますか、又は、こういうことを看護職員に依頼したいということはありますか？（自由記述）

＊できれば、毎日本人の健康状態を含め話し相手になってほしい。5～10分でよい。
＊毎月通院をしている病院で4ヶ月前から血圧が低すぎると言われた。それを看護職員に伝えられていなかった。飲んでいる薬の変更、調整のタイミングはどんな場合ですか？褥瘡はどの程度になったら通院をすすめますか？
＊新たな疾患があったら教えてほしい
＊母が訴える症状についての所見がほしい。
＊脳の出血が再発しないか心配です。変化があったらすぐに教えてほしい。
＊排便のことや口腔内の事を知りたい
＊体重が徐々に増えているので、そのことについて話がしたい
＊看護職員さんの立場からどのような対応をしてくれているのか処方されている薬に関して薬が変った時や新しく治療が加わったときは説明があれば有難い
＊面会に行けないので状況を知ることが不明。生で見聞きしたい。
＊家族の代わりに介護をしてもらい、感謝しています。
＊相談員の方からいつも報告をもらっているので問題はありません。

（アンケート結果より）

★ 看護職員全員で意見を交わしました

下記は、今回、アンケート結果を集計した後の看護職員の意見・感想です。
＊相談したいと思っていた方が多くいらっしゃったことに驚いています。
＊話をしたくても、話しにくいと思っている方も若干いらっしゃるようなので、反省し、雰囲気づくりをしたいと思います。
＊コロナ禍で、長期間、面会ができないことで、ご家族の心配、不安は理解できます。
＊直接、会うことができない分、ご家族の心配は当然だと思います。

★今後、健康管理課でやっていきたいこと

利用者さんの身体の悩みを伺うことについて、職員の方から「具合はどうですか」「いかがですか」など、話のきっかけを作ることが大事だと思いました。それには、普段から日常会話があると、利用者さんも私たちに声をかけやすくなると思うので、処置などで対応させていただくときなどは、積極的に会話を しようと思います。すぐに、対応ができないような時は、「〇分したら来ます」などの約束をしていきたいと思います。

＊入所されているご家族との情報交換について 「直接、看護師と話がしたい」というご要望を沢山いただきました。

日頃の配置医師とのコミュニケーション内容は伝達が可能です。情報は、随時、生活相談員が電話等でお伝えしていますが、看護職員がお話する機会があれば、対応させていただきたいです。コロナ禍で制限される面会ではありますが、予約情報、面会の予定を得たときは、積極的にご家族に話をする機会を設けていきたいと思っています。直接、お話することで、質問なども受けたり、医療情報を提供できるのではないかと考えています。